

## ●診療科紹介

令和2年4月に関節リウマチや膠原病を内科的に診療する科としてリウマチ科を開設した。外来や入院での診療を行う。従来から同領域は総合診療科、腎臓内科などで行われていたが、標榜化にて患者のアクセス改善、院内外との連携が強化されることを目標とした。

## ●主な診療内容

## &lt;治療&gt;

副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤などの内科治療。

## &lt;外来&gt;

週2回リウマチ科の外来(一枠は腎臓内科と同時)。

病診連携行う(病状が落ち着いている患者はかかりつけ医と連携)。

## &lt;入院&gt;

入院治療が必要な場合は、当科などで治療。入院時の主治医以外の担当医として腎臓内科医があたり場合あり。

## ●スタッフ

医師 太田康介 (診療部長、腎臓内科と兼任)

## ●実績(令和2年度)

<外来>通院患者 88 例 (令和2年度末患者数、一部の腎病変合併例は除く)

関節リウマチ	43 例
全身性エリテマトーデス	4 例
強皮症(全身性、限定性)	7 例
多発筋炎	1 例
シェーグレン症候群	5 例
リウマチ性多発筋痛症	10 例 など

<入院>10 例 (延べ人数)

関節リウマチ	1 例
強皮症	1 例
多発性筋炎	1 例
混合性結合織病	2 例
リウマチ性多発筋痛症	2 例
IgG4 関連疾患	1 例
詳細不明の関節炎	2 例

## &lt;院内連携&gt;

他科入院、外来患者の併診(循環器、呼吸器、総合診療、整形外科、皮膚科、眼科など)

●教育

ベッドサイドなどでの on job training、内科カンファレンスでの講義

●研究・学会活動

日本リウマチ学会教育施設